

趁因後坐力
騰空的間隙

追加輕快的
逆袈裟斬

在空中使出
垂直向下的
強力斬擊

開脚・吹雪の風脚座



再以此為支點
用太刀橫砍一記

逃げ上手の若君

第91話 直義1335

まつ い ゆうせい
松井優征



著地前

將打刀
嵌入
敵人面部

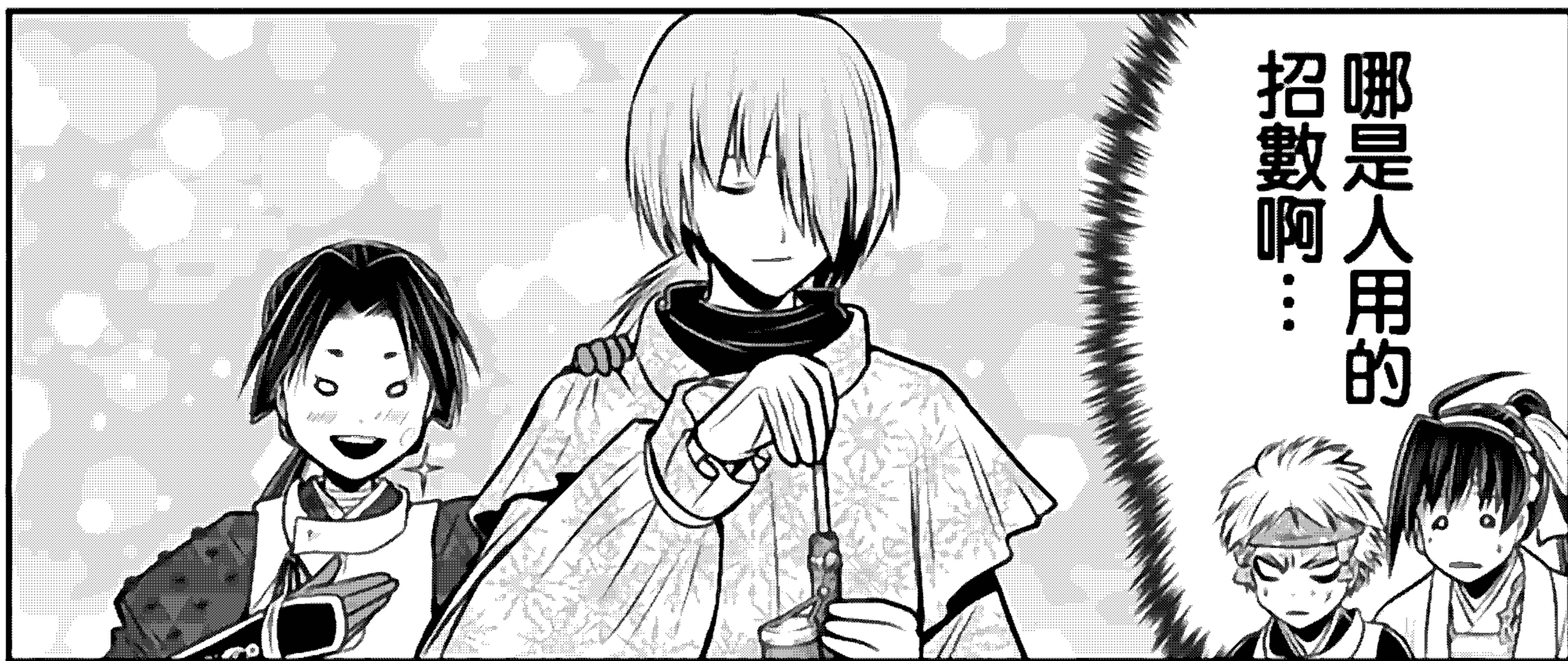


這其實是
試手用的
表演技法

平時根本
沒機會實踐的

所以傷口的
形狀就成了

「風」嗎……



哪是人用的
招數啊：



很厲害吧

這就是
千錘百煉的
產物啊大概

吹雪的本事
你驕傲個
什麼勁啊

他果然
隱瞞了不得了
過去啊

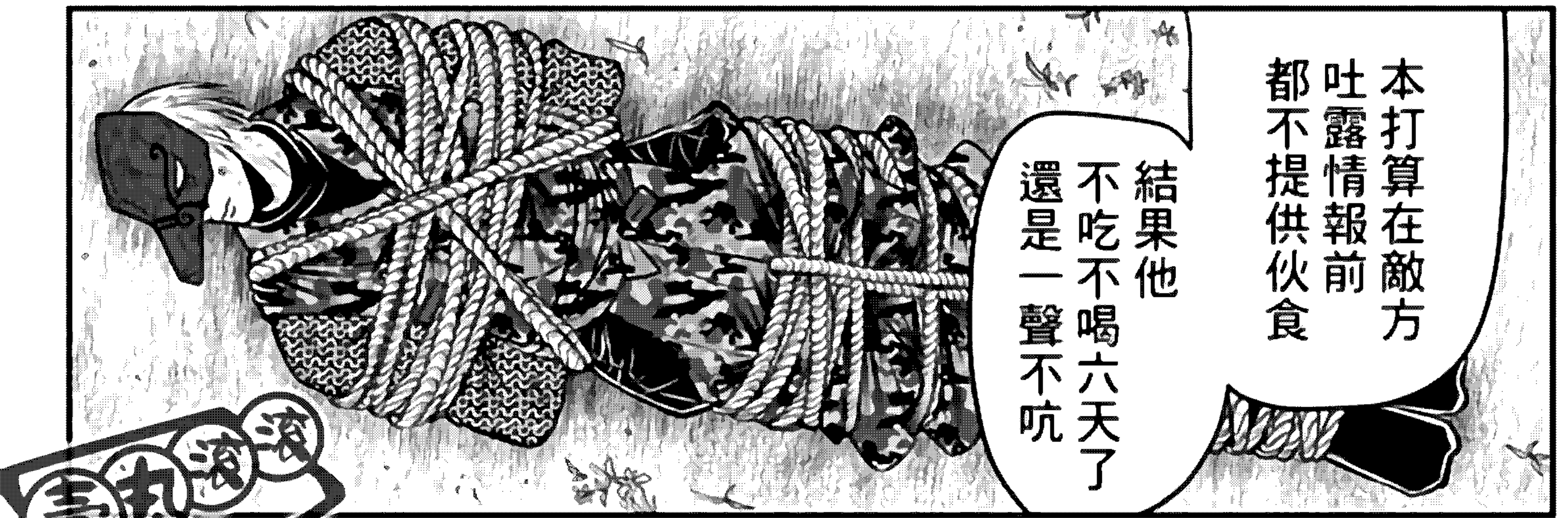


這樣的傢伙
竟也因為
出身寒門而
難以發跡

看來即便
去侍奉足利
也未必能成名

玄蕃
你跟我
來一下

ひく





我們少爺
可不看郎黨的
身家

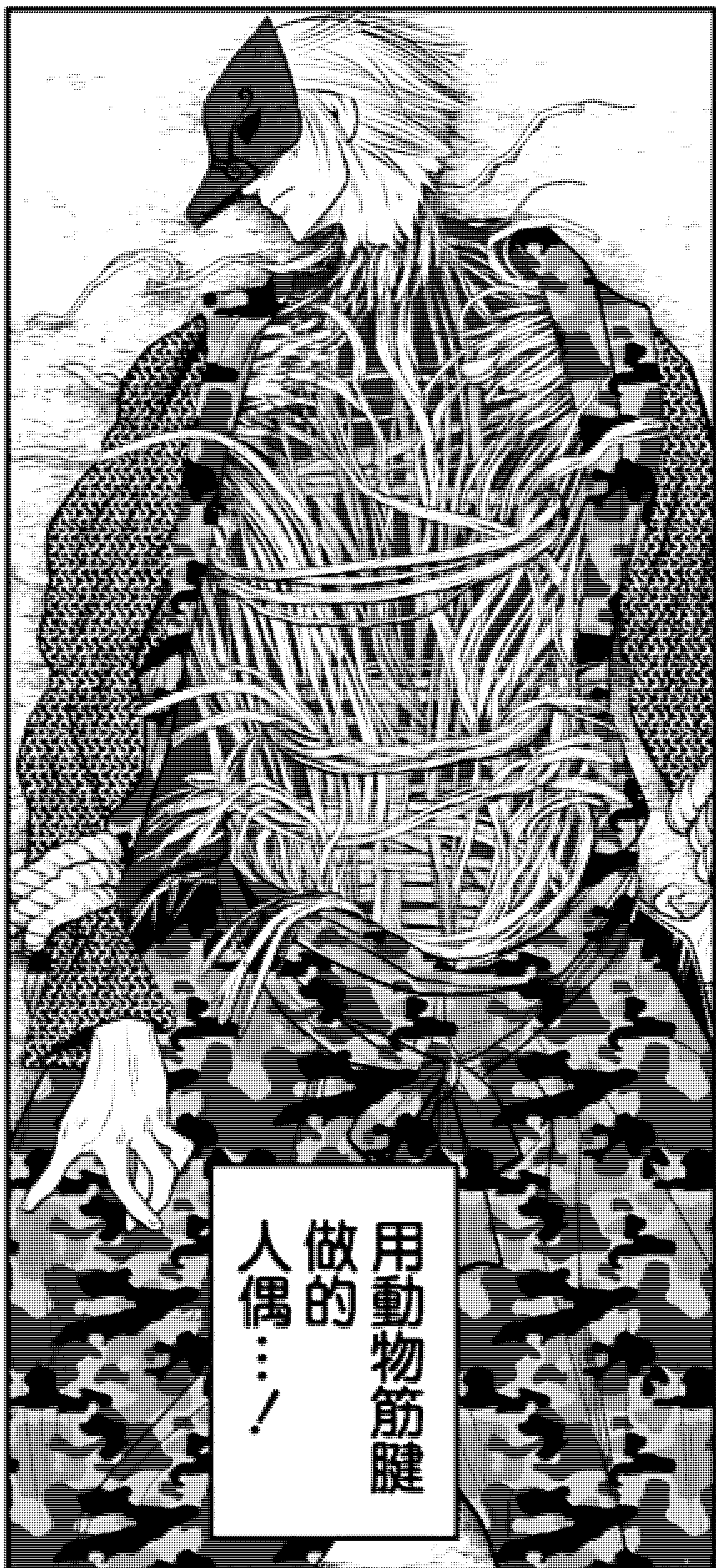
好厲害

是個只會
天真地欣賞
別人技術的
小鬼

與其將
曆盡磨難掌握的
技術獻給
恐怖的主君

不如跟著他
能活得
更有人樣哦

!?



…沒想到

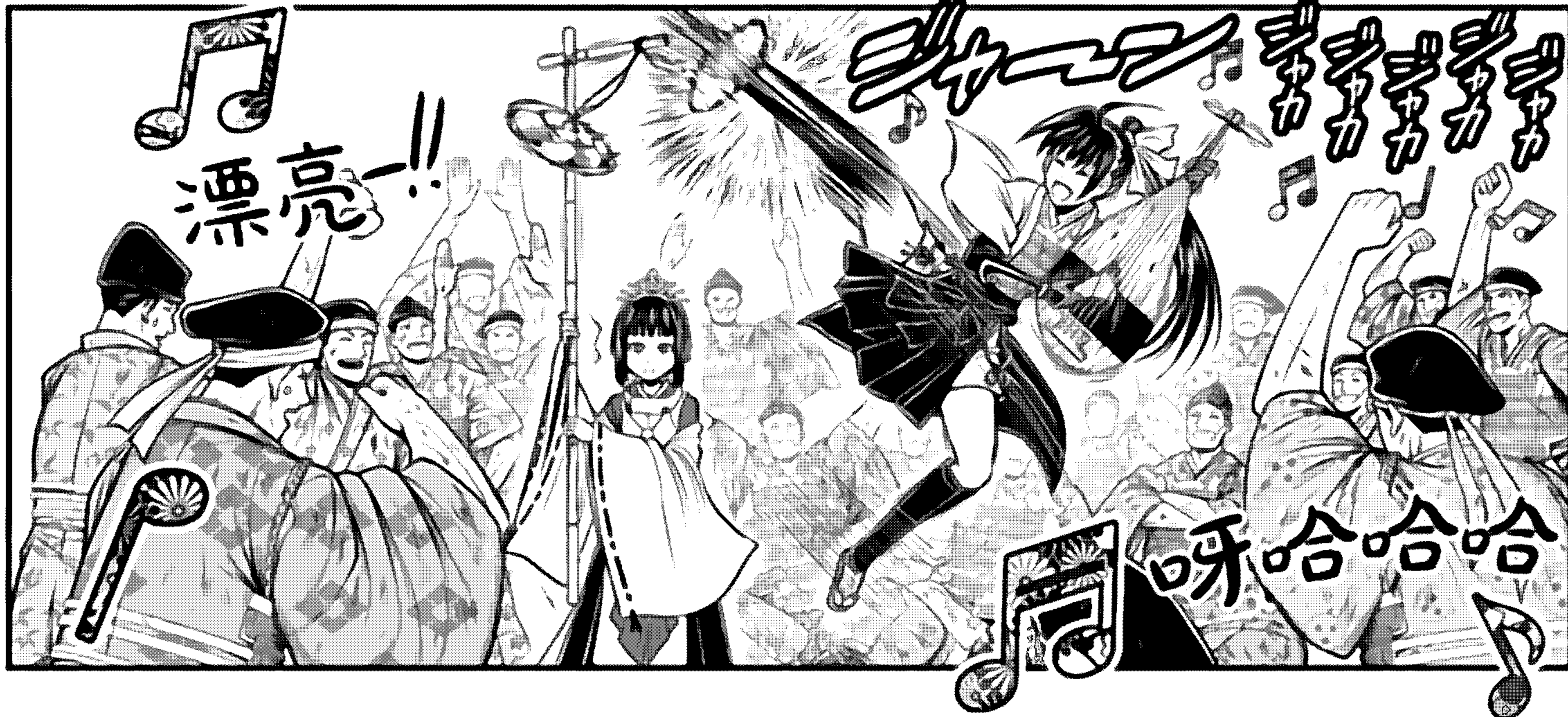
我居然會在
爾虞我詐上
一敗塗地啊

不單把我
五花大綁

還讓那種髒東西
在我眼前
晃來晃去…!!

風間玄蕃

…饒不了你!!



再加
把勁

只要
沒有戰亂...

我們僅需一天
就能抵達鎌倉



一戰
接一戰

兵將的體力
都被大幅削減



がやがや

但士氣
依然高漲

都是
時行大人的
功勞啊

哦哦一!!

哈哈哈哈哈

能回到……

鎌倉了

回到我們

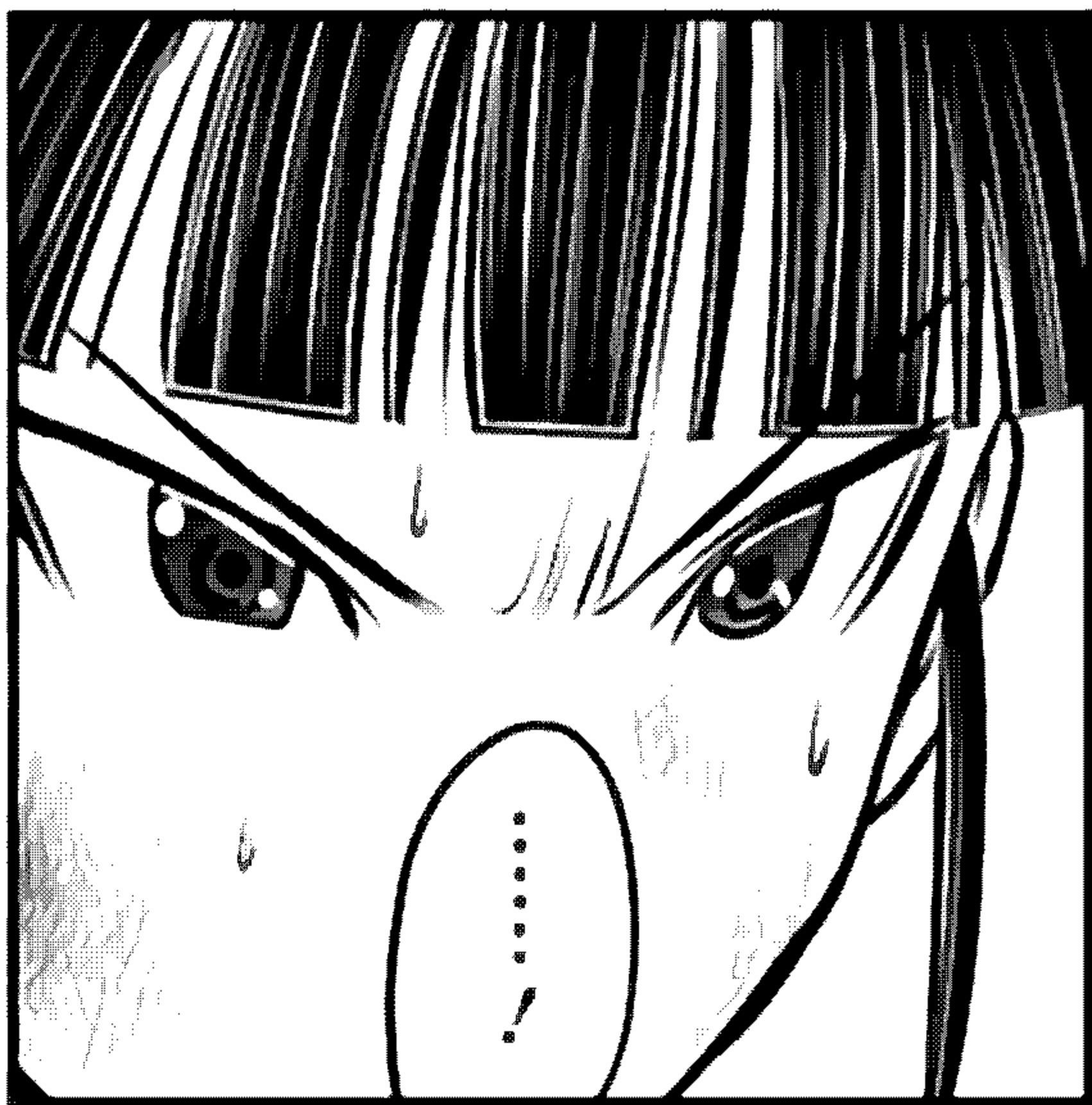
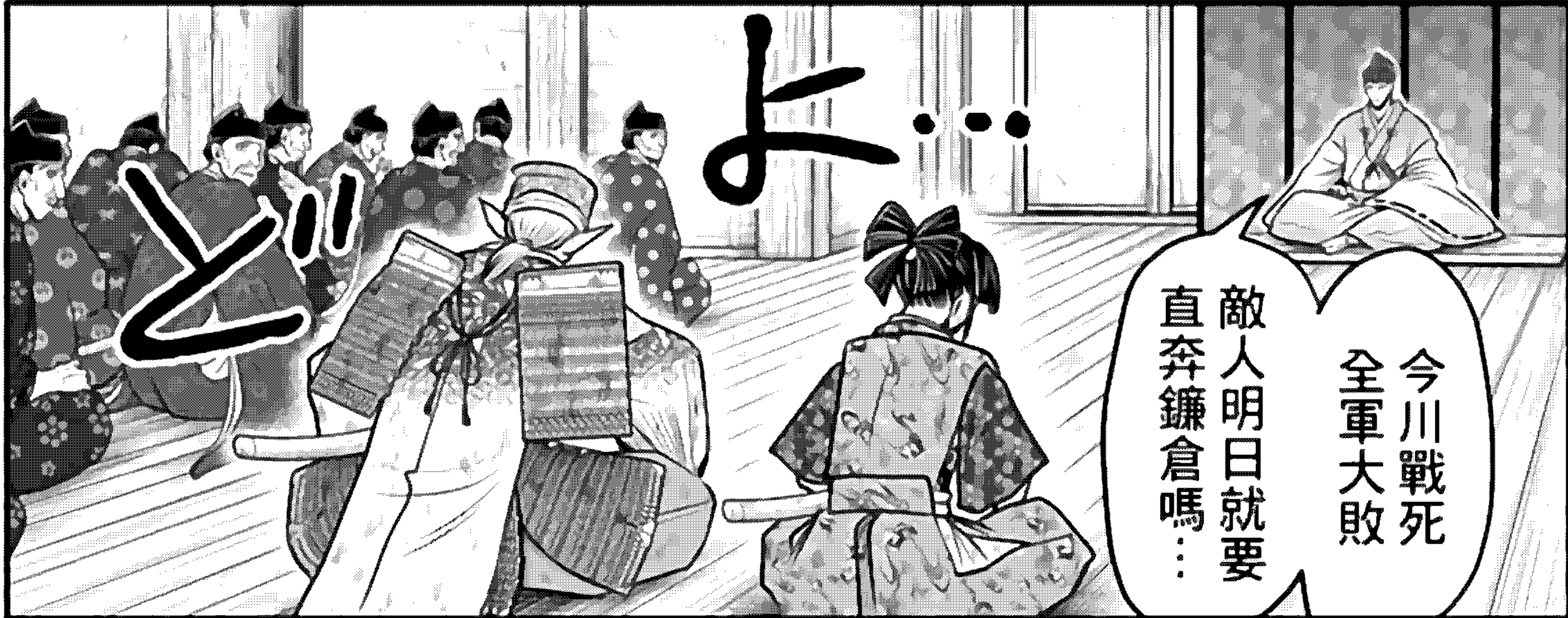
思慕了兩年的
故鄉!!

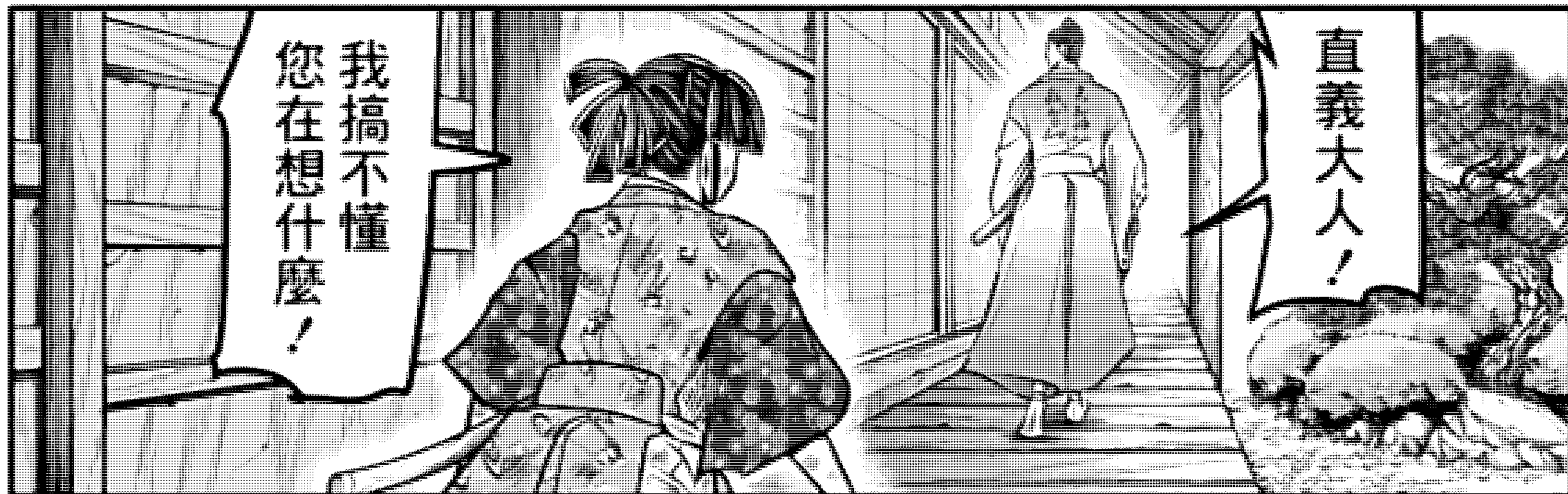
當然

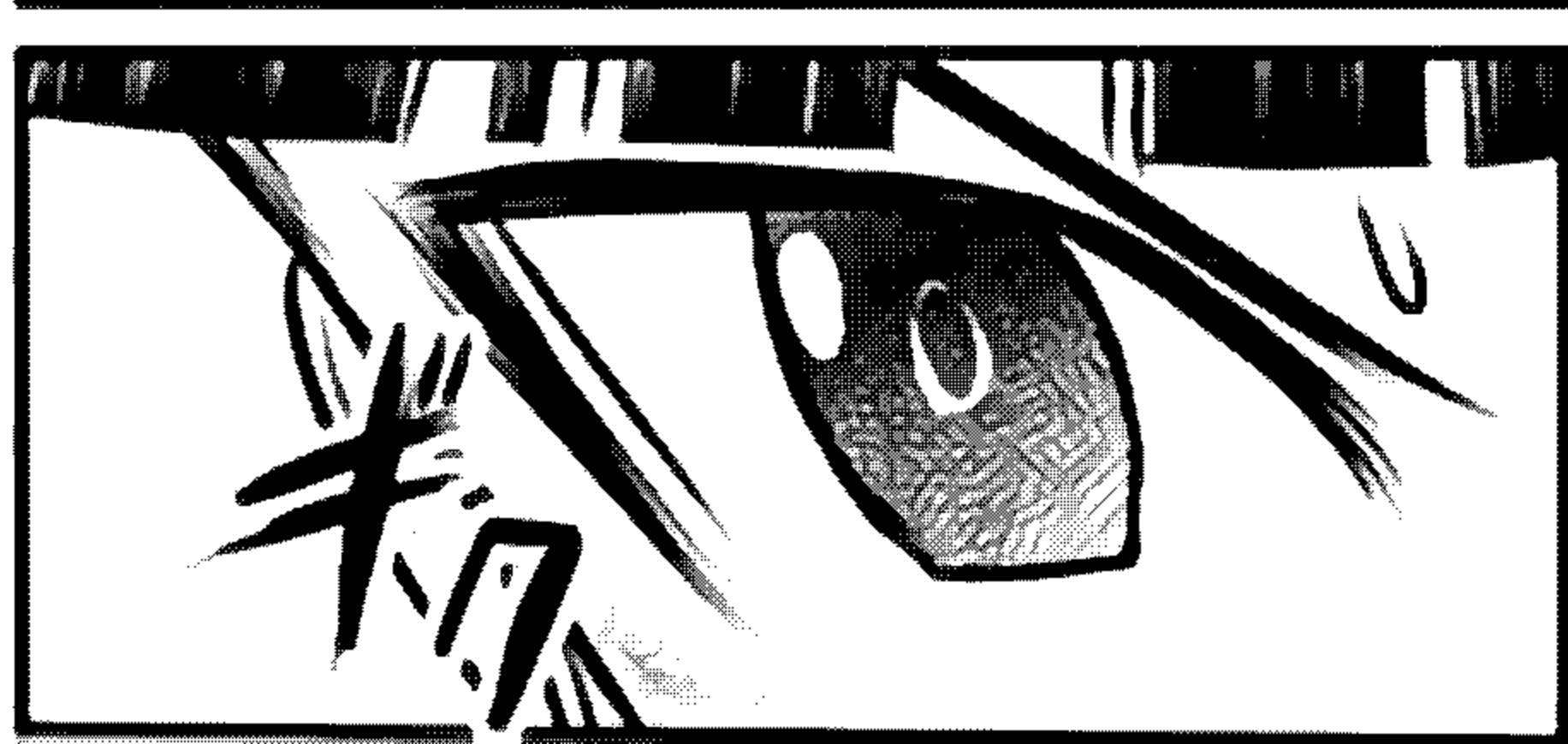
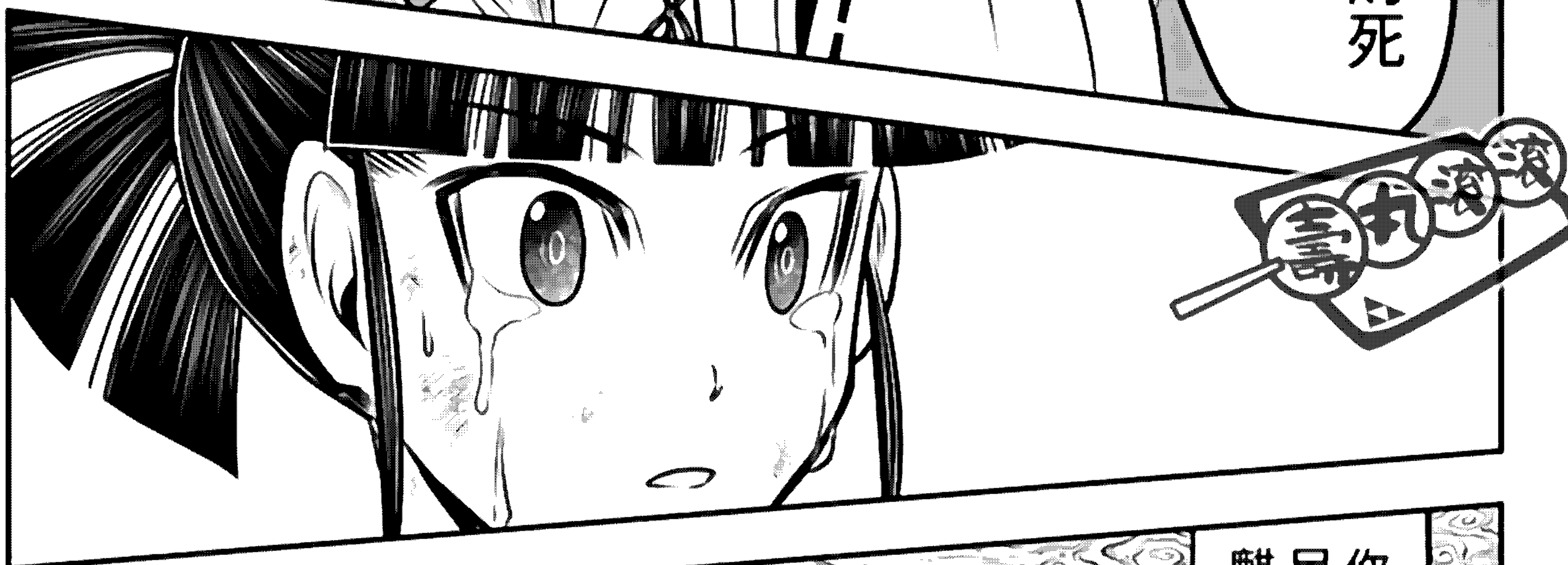
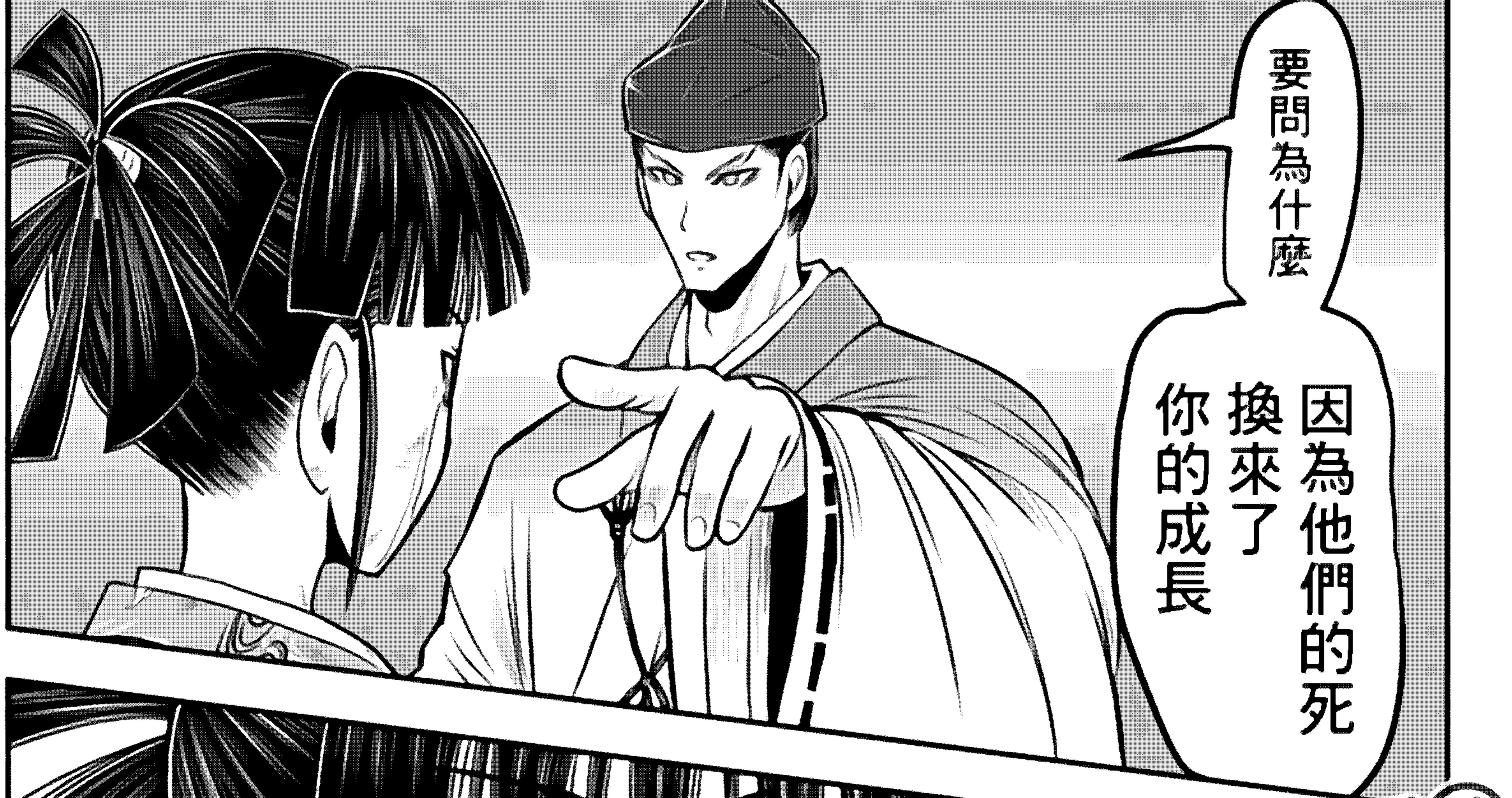
戰爭是
無法避免的

必須擊潰

足利直義
這一最後的
壁壘方可
突入鎌倉







之後肯定
免不了挨打

像撒嬌一樣
操縱武將

我讀
斯浪的士兵
拿了一下
諏訪的戰旗

像玩鬧一般
試行戰略

因夥伴的死
而動搖

等你長大後
這些兒戲就
再也不適合
一個將領了

繼續打
別停！

女孩子
就在
那裡哦

北條的各位
快轉身看

你們後方的
同伴已經
着火啦！

經歷了澀川
他們的死亡

你應該
已經知曉
戰敗的
殘酷了

文武雙全的
澀川……

雖是肩負著
足利未來的
人才

但只要你能
褪去青澀的外殼

失去他也
綽綽有餘了





您早就考慮到
澀川殿下
身殞的可能：

才讓我
和他們
同行的？



快長大吧
孫二郎

靠年輕氣盛
統治鎌倉的時代
已經結束了

@ 嵌字 琴



通過你們
吸引來的
富裕階層的
女孩：

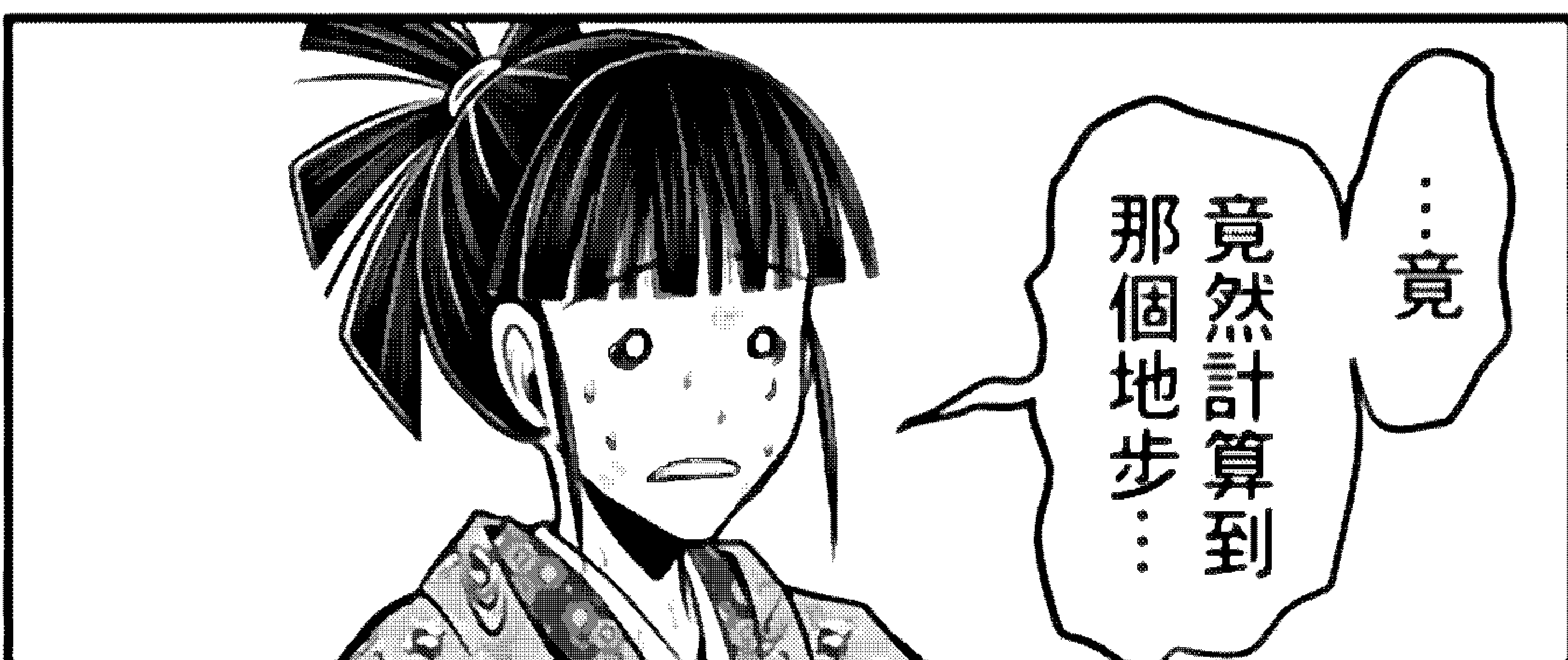
我們的人脈
也擴展到了
她關東的富豪
雙親乃至公家



你們的活動
確實重振了
鎌倉的財政

參加費是每人
250萬!!

祈願必勝的符紙
一枚兩萬五千！

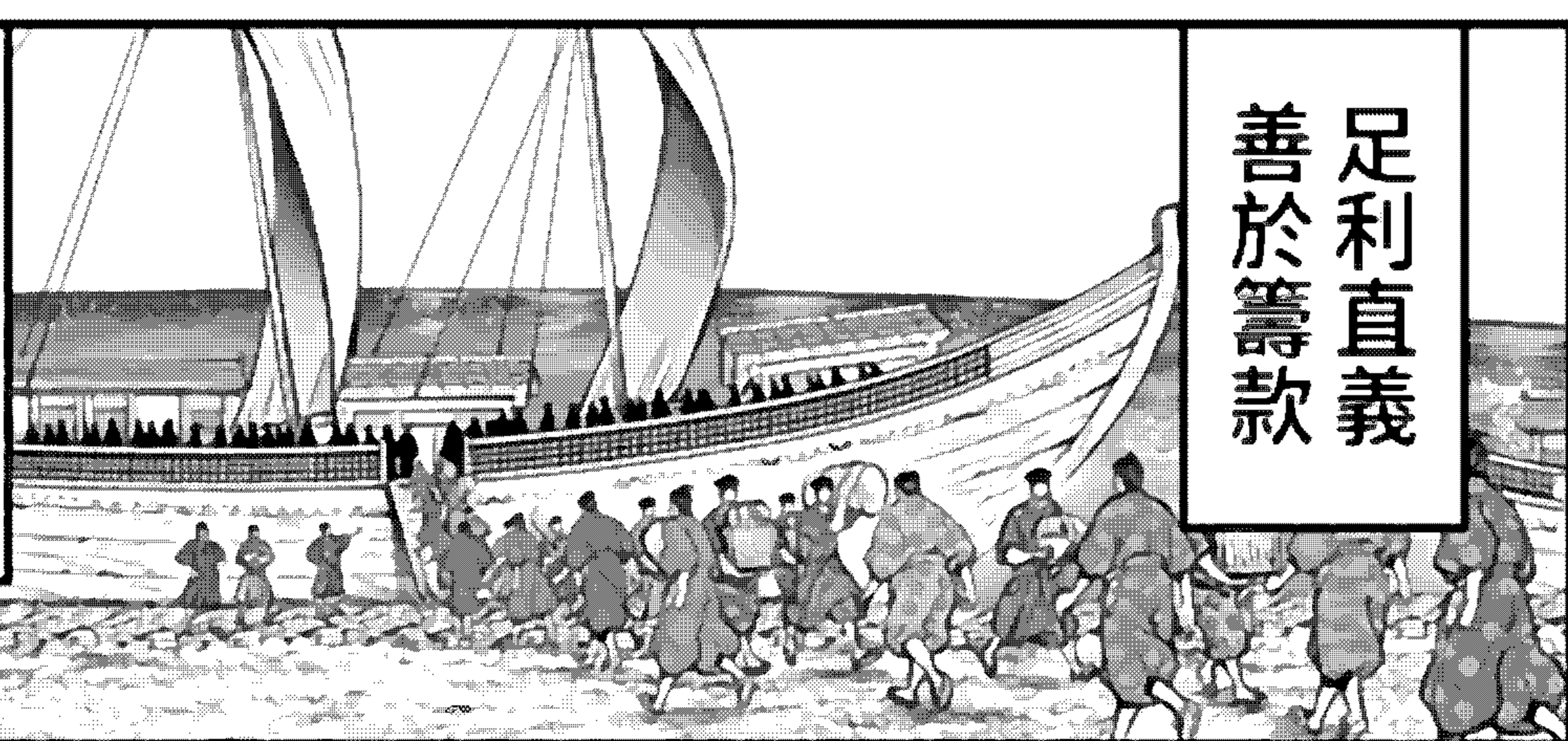


……竟

竟然計算到
那個地步：

足利直義
善於籌款

與敵對國
中國元朝的貿易
也大獲成功
一攫千金



今後的鑛倉
將受到嚴格的
法律統治

以你的天資
成為新的
鑛倉之主
不在話下

你就拼命學習
鍛煉出與天資
相匹配的才能吧



：他的大局觀
和我截然不同

當大家
疲於應付
眼前的戰亂時

唯有
這位大人在
未雨綢繆





冷情冷性

即便我死了
那個人也不會哭泣

ドゥ...



但是

在眼淚無法
幫助任何人的
世道上

若松大人啊啊啊

啊
若松大人
戰死了——!!



對我的未來
考慮得比
我自己還要
認真的人...

讓我不得不
對他宣誓效忠

伶俐的頭腦和
戰略眼光

大和神知
我智知

萬眾仰賴
絕不瀆職

精通交涉・
籌款・和歌

足利直義
是個卓越的
政治家

如果出生在現代
一定具備能推動
日本前進的力量吧

直義大人

終於要親自上場
指揮作戰了！



是時候
據守鎌倉

在這
最後的要塞
傾力奮戰了！



鎌倉
三面環山
易守難攻

這次
攻守逆轉！

援軍趕到之前
直義大人
一定能輕易
守住陣地吧！

過去
進攻北條時
我方曾付出了
巨大的犧牲



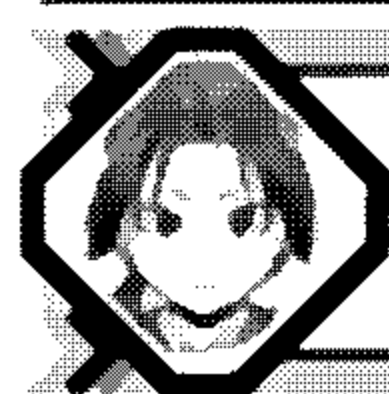
請
下令吧！



如果非要舉出
直義的弱點

那就是
不擅長打仗

☆這個缺點非常致命！



少主溜得快

第91話
／本話完

解説上手の 若君

昔の日本では豪華な
装身具をつけない？
そのあたりを解説！

解説 本郷和人

1960年、亀有生まれ。歴史の研究所で
ある東京大学史料館の教授。おっちゃん
こいれでテレビや雑誌にも出演する。

当時の装身具について

問

装身具の歴史について教えて！

日本の大昔、えらい人は普通に装身具で身を飾って
いました。勾玉に代表される、ヒスイや動物の牙
を細工した装身具が多く出土しており、耳飾り、首飾
り、指輪などが見られます。

ところが西暦600年頃になると、つまりヤマトが
強力な中央集権国家になっていくにつれ、そうした装
身具が地方の首長のお墓などから出てこなくなる。
どうしてか？ヤマトの大王(天皇)が神の祭祀を独占す
るようになって、地方の首長は祭祀と深く結びつく装身具を
身につけなくなった、もしくはヤマト王権によって禁じられ
たんじやないか、との説が有力なようです。

その後、日本ではアクセサリが用いられなかった。
女性にはもっぱら衣服の色合い(良い例が十二単ですね)、
それに香りでオシャレをした。「長い黒髪こそ美しさ！」
という文化でしたから、それに加えて首飾りや耳飾りなんか
していると、肩がこってしかたなかったかもしれないね。
男性はアクセサリで自身を演出するよりも、鎧と

解説を読む
とはやりおる

猫ちゃんも
喜んでおるわ



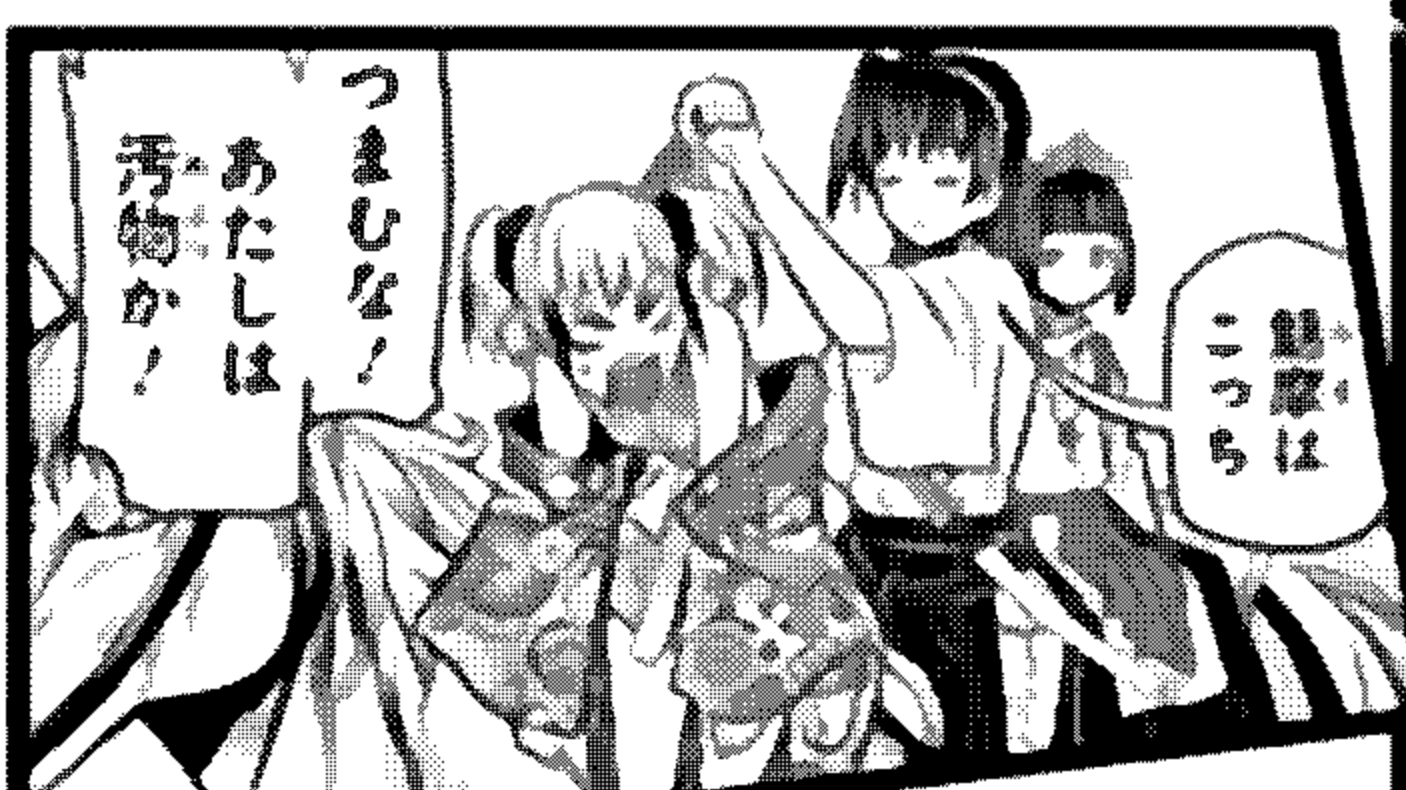
岩松四郎

織豊時代とフロイス

織田信長と豊臣秀吉が活躍した時代を織豊時代
という。メジャーな名称だと安土桃山時代だ。

フロイスはフランシスコ・ザビエルの後に日本へ来た
キリスト教の宣教師で信長や秀吉と親交があった。布
教活動をしながらかの著書を残しており、当時の日
本の様子を知ることができる貴重な資料となっている。

→フロイスの時代より作
の『透け若』での女性像も
基本は髪飾り、オシャレ
といえど下手な装身具



→時行は長い黒髪に加
えて髪も改造済み。当
時ならオシャレ度が高
いので、北条軍總大将
の主張としては十分



か兜、あるいはかっこいい刀で自分を主張した。その
ため、こちらも装身具は不要だったようです。
織豊時代に米日したポルトガルの宣教師、ルイス・フロイ
スは『日欧文化比較論』のなかで「ヨーロッパの女性がつける宝
石のついた指輪などは一切つけず、金・銀で作った装身具も
身につけない」と指摘しています。そういえば、その後の江
戸時代も、浮世絵を思い出すと、女性は首飾り、耳飾り、
指輪はしていませんね。男性が意中の女性にプレゼントする
物といえば「かんざし」でしょうか。
結局日本人の、とくに女性がアクセサリを楽しむよ
うになるのは、明治時代になってからだそうです。千
年以上、アクセサリは不要だったことになりました。恋人に「ネッ
クレスほしいな」とかいわれて金欠な時には、「日本人はアク
セ云々」とウンチクを語って、ケムにまいてみてはどうでしょう。

卷末語

讓過去的今川拿著
「瑪瑙」是作畫失誤。
所有3D場景都不能大意……

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

今

第91話

少主溜得快

順位11 / 21
WJ2023 NO.03

監製

童話

壽丸滾滾漢化

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051

招募案

育發微博
@混教連合會
測試群

648466051

(翻譯&教字)

翻譯
日語限定
過了測試就執行
有2.3輪測試
校對不直接測試
依情況而定

教字
細心
會辨別字體 PS熟練
且有一定空閑時間
通過測試即可
需基礎可教學
測試時限3個月

混教連合會